

aiwa

型番：GAA4-MCA0001

マルチコンポーネントオーディオ

aiwa audio -G MCA1

ユーザーマニュアル

■はじめに お使いになる前にならずお読みください。

- お客様、または第三者が本製品のご使用を誤ったこと、または静電気や落雷などの影響を受けたことによって生じた事故や不具合、それらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご承知ください。

- 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷、お買い上げ後の輸送、落下による故障及び破損が認められる場合、いかなる事由においても修理・交換はいたしかねますことを、あらかじめご承知ください。

■安全上のご注意 お使いになる前にならずお読みください。

<div>⚠ 警告</div>	<p>取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定されるもの</p>	
<div>⚠ 注意</div>	<p>取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（※2）を負うことが想定されるもの、または物的損害（※3）の発生が想定されるもの</p>	
<p>※1：重傷とは、失明やケガ、火傷（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期にわたる通院を要するものを指します。</p> <p>※2：傷害とは、治療に入院や長期にわたる通院を要さないケガや火傷、感電などを指します。</p> <p>※3：物的損害とは、家屋、家財、および家畜やペットなどにかかわる拡大損害を指します。</p>		
<p>次の記号は、その注意事項の内容を表します。</p>		
<div>🚫 禁止 禁止 (してはいけないこと)</div>	<div>🚫 水ぬれ禁止 水がかかる場所で使用したり、水にぬらしたりしてはいけないこと</div>	<div>🚫 ぬれた手禁止 ぬれた手でさわらないこと</div>
<div>🔧 分解禁止 分解しないこと</div>	<div>! 指示 指示を守ること (必ずしなければならないこと)</div>	<div>🔌 電源プラグを抜く 電源プラグを抜くこと</div>

⚠ 警告

- 下記の問題が発生した場合は、ただちに電源コードを抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

- ・使用中・充電中・保管時に、発煙・異臭・異音などが発生した場合
- ・本製品内部に水や異物が入った場合
- ・本製品を落とした場合
- ・本製品が破損した場合

- コードが傷んだり、異常に熱くなった場合は、ただちに本体の電源をオフにし、接続を外してください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

上記の問題が発生した場合は、**電源コードを抜いた後**、サポートセンターにご連絡ください。

- 本製品を火中や水中に投入したり、加熱したりしないでください。乾電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により大ケガや火災の原因になります。

- 落としたり、投げたりして衝撃を与えないでください。本製品の故障の原因となり修理ができません。

- 本体内部に異物を入れたり、端子部に接触させたりしないでください。金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入ったり、端子部に接触すると火災や感電などの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 自動車やバイク、自転車などの運転中や歩行中は本製品を使用しないでください。交通事故の原因となります。

- 梱包で使用しているビニール袋は乳幼児の手の届く所に置かないでください。鼻や口をふさいで窒息するなど、ケガの原因となることがあります。

- ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。本体が落下してケガの原因となります。

- 修理、改造、分解をしないでください。火災や感電の原因となり修理できません。

分解禁止



ぬれた手禁止



水ぬれ禁止

- 本体内部に水が入ったり、ぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。

- 風呂場、シャワー室などでは使用しないでください。感電や回路のショートなどによる火災や故障の原因となります。

⚠ 注意



禁止

- 直射日光の当たる場所、車の社内や温室などの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・やけど・感電の原因になることがあります。

- 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色、塗装はげの原因となります。

- 本製品に磁気を帯びたものを近づけないでください。強い磁気を近づけると誤作動の原因となります。また、磁気カードなどを本製品に近づけないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

- 本製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、ただちに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診断を受けてください。

- ほかの電気機器の近くで使用した場合、お互いが干渉し雑音が発生する場合があります。特に近くにテレビやパソコンなどの機器がある場合、雑音が大きくなる場合があります。その場合は離れた場所でご使用ください。

- 旅行などで長期間ご使用にならない場合は、安全のため乾電池をリモコンから抜いてください。乾電池の液漏れが思わぬけがや火災、故障の原因となり大変危険です。またその場合は修理できませんのでご注意ください。

- 本製品を長時間使用する場合、特に高温環境では熱くなることがありますので注意してください。

- 電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。火災や感電の原因となります。

- 電源プラグや端子に付いたほこりは、乾いた布で拭きとってください。火災や感電の原因となります。

- 本製品を濡れた手で扱わないでください。火災や感電の原因となり大変危険です。また水濡れが原因で発生するショート・電池の液漏れ等が原因で故障した場合は修理できません。



ぬれた手禁止



指示



電源プラグを抜く

- 旅行などで長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。万一故障してしまった場合火災の原因となることがあります。

電波法 電気通信事業法に関するご注意

改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法 / 電気通信事業法に抵触します。

- 本製品を分解して内部の改造を行った場合、電波法および電気通信事業法に抵触しますので絶対に使用されないようにお願いいたします。

電波障害に関するご注意

- 本製品は一般的な屋内の環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビの近くで使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

- 正しく取り扱っても、電波の状況によりラジオ、テレビの受信に影響を及ぼすことがあります。そのような場合は、以下にご確認ください。

- ・本製品をラジオ、テレビから十分に離してください。
- ・ケーブルは付属のものを使用してください。

廃棄について(リサイクル)

- パッケージの分別方法は地域によって異なります。お住いの市町村の指示に従って分別排出をしてください。識別マークは外箱に表示されています。

お手入れに関して

- 本体の汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。

- 汚れがひどい場合は、布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジンやシンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。

- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

結露（つゆ付き）に関して

- 結露が発生した状態で本製品を使用すると、故障の原因となる場合があります。結露は以下の状況で発生する場合があります。
 - ・寒い場所から急に暖かい場所へ本製品を持ち込んだ時
 - ・暖房をつけ始めた場所や、エアコンなどの冷風が直接あたる場所で使用した時
 - ・冷房がついた部屋、車内などから急に温度、湿度の高いところに移動して使用した時
 - ・湿気の多い場所で使用した時

- 結露が発生した場合は本製品をすぐに使用しないでください。本製品を2-3時間程度室温で放置し付着した水滴がとれるまでお待ちください。

CDの取り扱いに関するご注意

- 本機で使用可能なディスクは右のマークのある市販のCDもしくはCD-R/RWです。CDG/CDV/CD-I/CD-ROM/DATA-DISC/DVD/BDは使用できません。

- コピーガード付きCD(CCCD等)は再生できない場合があります。

ディスクの取り扱いについて

ケースから取り出すときはホルダーを押さえ、再生面に触れないよう取出します



- ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクは危険ですので使用しないでください。

- 再生面・印刷面にテープやふせんを貼らないでください。

- ハート型や八角形などの特殊形状ディスクやラベルなどが貼付されたディスクは使用しないでください。故障の原因になります。

ディスクのお手入れについて

- シンナーやベンジン、レコード盤用クリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを傷める恐れがあります。

- CDを拭く時には柔らかいタオル等をご使用ください。ティッシュペーパーはディスクに細かな傷がつくので使用しないでください。

- CDを拭く時には中心から外側に放射状にまっすぐ拭いてください。CDは同心円状の傷に弱く再生できなくなる場合があります。

カセットテープの取り扱いに関するご注意

- 本機で使用可能なカセットテープは60分テープまでです。**60分を超える物はテープの劣化等の影響で絡まりやすいためご使用をお控え下さい。テープが切れ故障の原因となります。

- 本機の仕様はノーマルタイプ(Type I)再生です。**ハイボジ(Type II) / フェリクロム(Typelll) / メタル(TypeIV)の再生は可能ですが、ノーマルタイプ相当の音質となります。

- 定期的なクリーニングをしてください。**再生中に音がかもったり小さくなった、聴こえなくなった場合は、まれに磁性体（テープに使用されている金属粉）や異物がピンチローラーや再生ヘッドに付着している場合があります。市販のヘッドクリーナーや綿棒などを使用して再生ヘッドをクリーニングしてください。

- テープのたるみにはご注意ください**再生時にテープがたるんでいると本体に絡まりテープにダメージを与える可能性があります。再生前に右図のように鉛筆などで直してからご使用ください。

- カセットテープには誤消去防止機能があります。**買ったばかりの空のカセットにはカセット上部の左右両端に誤消去防止の爪があります。録音後に爪が折られたカセットや市販のミュージックテープは四角い穴が開いた状態であり、録音ボタンが下がりません。再録音する場合は四角い穴をセロハンテープ等で塞いでください。

ラジオの受信状態に関するご注意

- ラジオは受信する場所によっては弱電界や建物等の死角となり受信できない場合があります。

- 本機のFMラジオは本体背面のアンテナコードで受信します。アンテナコードの向きを変えることにより受信状態が改善する場合がございます。

- 本機にAMラジオの受信機能はありません。AMラジオは将来的に停波の予定もあり、今後はFM電波でラジオを受信するワイドFMが主流になります。本機のワイドFM機能での受信をお試し下さい。

各地域の対応放送局は新聞または総務省のホームページでご確認下さい。
総務省トップ>政策>情報通信(ICT政策)>放送政策の推進>ワイドFM>全国民放FM局・ワイドFM局一覧
https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/housou_suishin/fm-list.html

レコード針の交換方法

- レコード針は長時間の使用により摩耗し、針飛びやレコード盤を傷める原因となります。本製品のレコード針は約100時間を目安に交換してください。専用交換針は本製品をお求めの販売店、または下記サポートセンターにてお買い求めいただけます。

針の抜き方	針の入れ方
<p>角の境目</p> <p>カートリッジ</p> <p>針パーツ</p> <p>真下に下げて外す</p> <p>① カートリッジを右手で押さえ左手の爪またはマイナスドライバー等で先端の角の境目を真下に下げ、赤い針パーツの先端を外します。</p> <p>② 前方に引き抜きます。</p>	<p>根本を先に入れる</p> <p>① 矢印の部位を合わせるように、斜め下からカートリッジを入れます。</p> <p>パチッ</p> <p>② パチッと音がするまで先端を上に入れて込みます。</p>

製品仕様 及び 同梱物

- ・本体サイズ:約 幅318×奥行285×高さ293mm
- ・本体重さ:約 4,350g
- ・スピーカーサイズ:約 幅160×奥行140×高さ245mm
- ・スピーカー出力:5w+5w
- ・材質: 他
- ・電源: 本体AC100V(50/60Hz)
 - スピーカー5V2.5A
- ・出力端子:イヤホン3.5mmミニジャック
 - 外部出力RCA端子
- ・入力端子:外部入力3.5mmミニジャック
- ・FM受信周波数:76～108MHz
- ・Bluetooth Ver.5.3 (A2DP/AVRCP)
- ・USB2.0 再生:MP3/128kbps
 - 16GBまで推奨

■同梱物: 本体×1、スピーカー×2、スピーカー用電源アダプター×2、保証書付取扱説明書（本書）

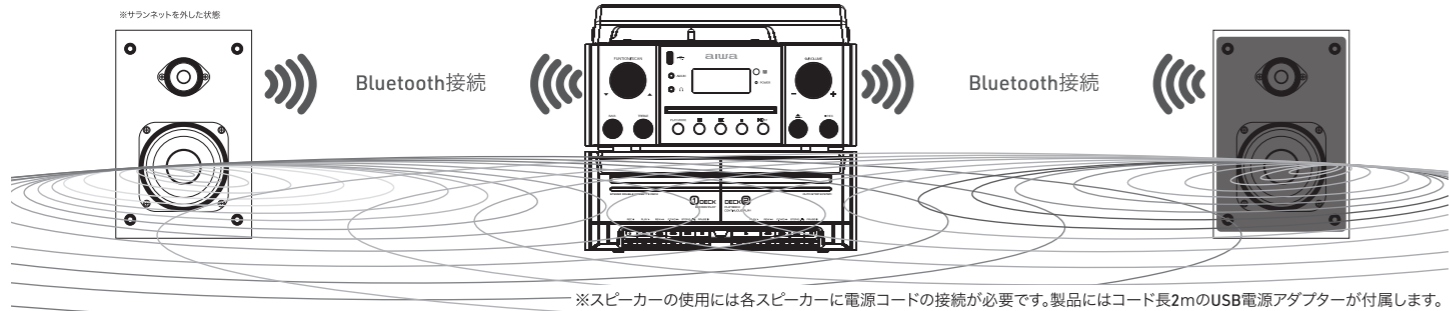
アフターサービスについては、直接下記サポート窓口までお問い合わせください。

サポートセンター
<p>TEL:0570-055-054(ナビダイヤル 有料)</p> <p>FAX:048-997-2082(有料)</p> <p>受付時間 10:00～12:00、13:00～17:00（土、日、祝祭日および当社規定休業日を除く）</p> <p>Eメールアドレス：aiwa@tohshoh.jp</p> <p>○通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。</p> <p>○サポートセンターの電話番号、対応時間などは予告なく変更することがあります。</p> <p>○年末年始などのサポートセンターの休業日には、お客様への対応ができない場合がございます。</p> <p>※本製品に関するお問い合わせ、サポート、サービスについては、日本国内限定とさせていただきます。</p>

〈販売元〉
株式会社とうしょう (aiwa 特約エージェント)
〒340-0802 埼玉県八潮市鶴ヶ曾根 1442-1

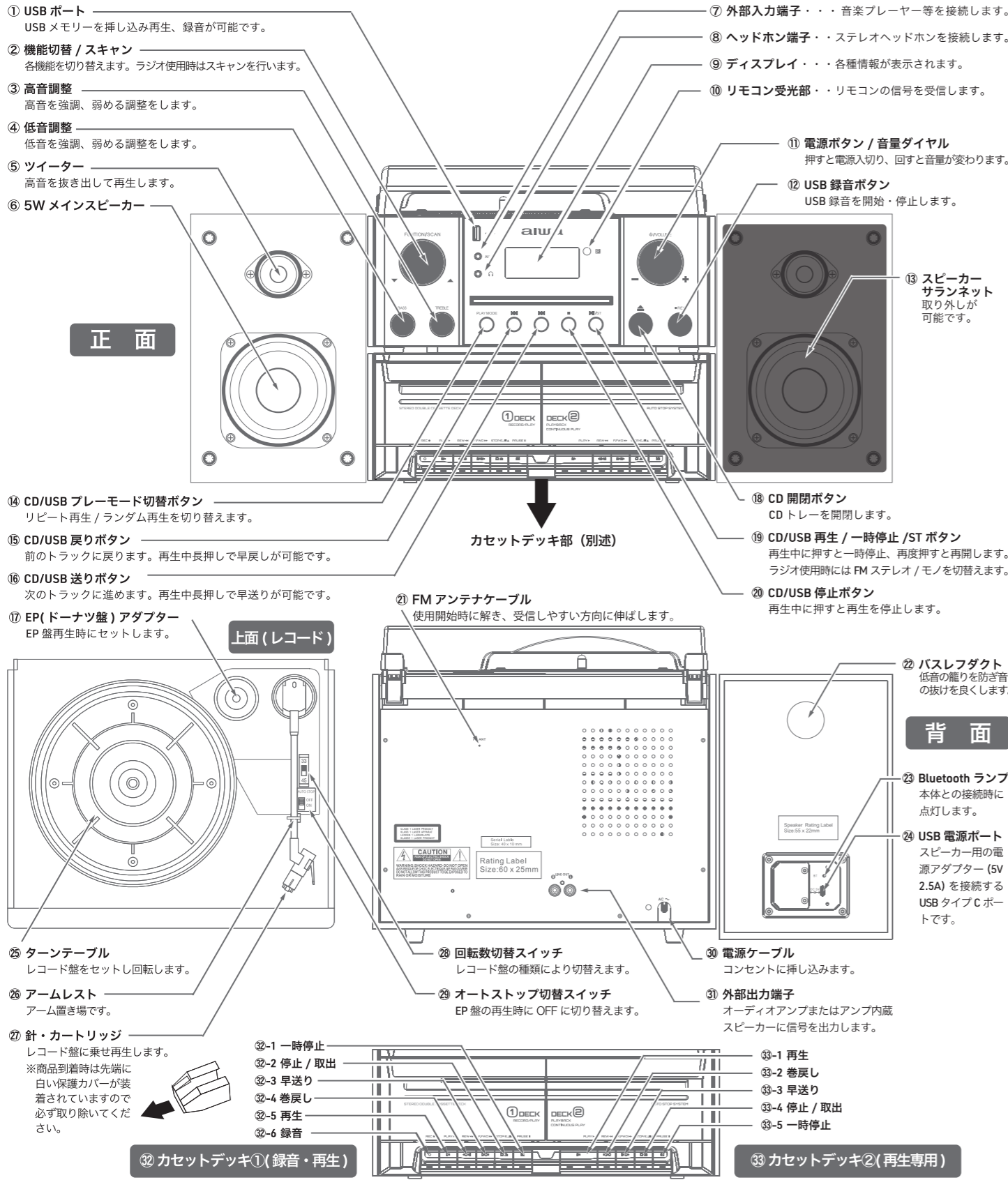
設置方法:付属のスピーカーをBluetoothの接続範囲10m以内に設置してください。①スピーカー×2の電源→②本体の電源の順に電源を入れてください。

※本体電源を先に入ると片方しか音が出ない場合があります。その場合は上記順番で電源を入れ直してください。

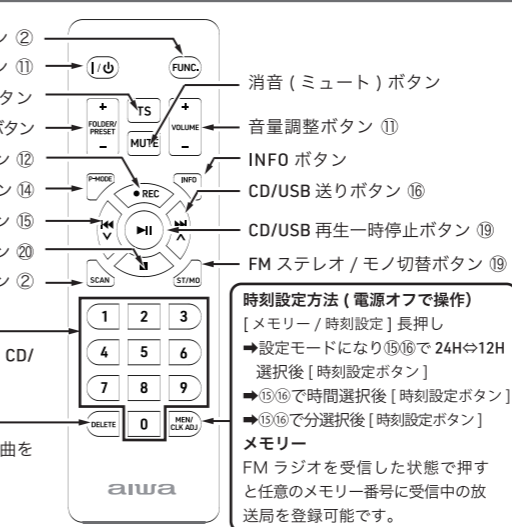


※スピーカーの使用には各スピーカーに電源コードの接続が必要です。製品にはコード長2mのUSB電源アダプターが付属します。

各部の名称と使用方法



リモコンの詳細



※リモコンは本体正面 ⑩ リモコン受光部に向けて操作してください。有効範囲は約5mです。

レコードの使い方

- [⑪ 電源ボタン/音量ダイヤル]を押し電源を入れます。
- [② 機能切替/スキャン]を回し「PHON/AUX」に切替えます。
- レコードの種類により [⑳ 回転数切替スイッチ]で回転数(レコード盤のラベル参照)を切替えます。
- ㉗ 針・カートリッジ部を持ち上げゆっくりをレコード盤に降ろして再生します。
- 再生が終了すると自動で回転が止まります。㉗ 針・カートリッジ部を持ち上げて㉘アームレストに戻します。

※(EP/ドーナツ盤のみ)本機にはオートストップ機能があります。LP盤の終了位置に合わせて回転が自動でとまりますが、EP/ドーナツ盤の終了位置が他よりも中心に近い位置にあるため最後まで再生されず止まります。必ず [㉘ オートストップ切替スイッチ]でオートストップをOFFにしてください。再生が終わっても回り続けます。[㉘ オートストップ切替スイッチ]をONにして回転が止まってからアームを戻してください。

カセットテープの使い方

※裏面[カセットテープの取扱に関するご注意]を良く読んでご使用ください。

- [⑪ 電源ボタン/音量ダイヤル]を押し電源を入れます。
- [② 機能切替/スキャン]を回し「TAPE」に切替えます。
- [㉘-2]または [㉘-4] 停止/取出しを押し蓋を開きます。
- テープの露出面を下、テープが巻かれている穴を左にして蓋にセットし手で閉めます。
- [㉘-5]または [㉘-1]再生ボタンを押し再生します。
- [㉘-3]または [㉘-3]で早送り [㉘-4]または [㉘-2]で巻戻しが可能です。
- [㉘-1]または [㉘-5]で一時停止、再度押すと一時停止解除が可能です。
- (デッキ1のみ) [㉘-6]を押すと録音が可能です。誤って上書きしたテープは戻せませんのでご注意ください。
- [㉘-2]または [㉘-4] 停止/取出しを押すと全ての動作が停止します。

カセットテープからカセットテープへのダビング方法

- 音源の録音されたカセットテープを ㉙ カセットデッキ2(右)にセットします。
- 何も録音されていないカセットテープを ㉚ カセットデッキ1(左)にセットします。
- ㉙ カセットデッキ1の [㉘-1一時停止]を押した状態で [㉘-6録音]を押します。※ [㉘-6録音]を押すと [㉘-5再生]が同時に下がります。
- ㉙ カセットデッキ2の [㉘-1再生]を押すと再生が始まり、同時に ㉚ カセットデッキ1の一時停止が自動で解除され録音がスタートします。

CDの使い方

- [⑪ 電源ボタン/音量ダイヤル]を押し電源を入れます。
- [② 機能切替/スキャン]を回し「CD」に切替えます。
- [⑱ CD開閉ボタン]でトレイを開き、CDの文字印刷面を上にしてトレイに乗せ、再度 [⑱ CD開閉ボタン]でトレイを閉じます。 ※「READING」点滅後CDが自動再生します。
- 再生中に [⑲ CD/USB再生/一時停止ボタン]を押すと再生が一時的に停止、再度押すと停止した箇所から再生が再開します。
- 再生中に [⑰ CD/USB送りボタン][⑰ CD/SB戻りボタン]を押すと次の曲または前の曲を自動で再生します。停止中は曲番を表示させ [⑰ CD/USB再生/一時停止ボタン]を押すと選んだ曲を再生します。
- [USB共通]再生中または停止中に [⑭ CD/USBプレーモード切替ボタン]を押すと1曲リピート→全曲リピート→(FOLDERリピート)→ランダム再生が切り替わります。

- [C] 1曲リピート・・・選択または再生中の1曲を繰り返し再生します
- [C] (FOLDER) フォルダーリピート・・・フォルダ毎の全曲を通して繰り返し再生します(MP3のみ)
- [C] All 全曲リピート・・・全ての曲を通して繰り返し再生します
- [RAN] ランダム再生・・・全ての曲を順不同に再生します。

ラジオの使い方

ご使用前に、本体背面の ㉑ FMアンテナケーブルを解き受信しやすい方向に伸ばしてください。

- [⑪ 電源ボタン/音量ダイヤル]を押し電源を入れます。
- [② 機能切替/スキャン]を回し「TUNER」に切替えます。
- (初回のみ) [② 機能切替/スキャン]を押しオートスキャンを開始します。 ※周波数表示が自動で動き受信可能な放送局をメモリーに登録します。
- (リモコンのみ) [フォルダ/選局ボタン]で放送局を呼び出します。
- 本体で選局する場合は [⑰ 戻り][⑰ 送り]ボタンを長押しして都度チューニングします。
- 受信中ノイズが多い場合は [⑰ 再生一時停止/ST]ボタンを押すモノラルにすることでノイズが軽減します。

USBメモリーの使い方

※16GBまで推奨

本機ではUSBメモリーのMP3ファイルを再生したり、USBメモリーへの録音が可能です。

■再生方法

- [⑪ 電源ボタン/音量ダイヤル]を押し電源を入れます。
- [② 機能切替/スキャン]を回し「USB」に切替えます。
- MP3が格納されたUSBメモリーを [⑪ USBポート]に差し込むと自動で再生が始まります。再生中に [⑰ CD/USB再生/一時停止ボタン]を押すと再生が一時的に停止、再度押すと停止した箇所から再生が再開します。
- 再生中または停止中に [⑰ CD/USB戻りボタン][⑰ CD/SB送りボタン]を押すと前の曲または次の曲を自動で再生します。

■録音方法

- リモコンのINFOボタンを押し [⑰ CD/USB戻りボタン][⑰ CD/SB送りボタン]を押すと録音時のビットレート(32~256kbps)が選択できます。
- 他の機能を再生中に [⑫ USB録音ボタン]を押すとUSBメモリーに録音されます。 ※CDを全曲録音する場合はCDが停止した状態で [⑫ USB録音ボタン]を押してください。
- CDからの録音を除きトラックは自動で分かれませんが、録音中にリモコンの[TS]ボタンを押すことで録音されるMP3ファイルが分割して記録することが可能です。
- 録音を終了するには [㉘ CD/USB停止ボタン]を押します。

Bluetooth機能の使い方

本機ではBluetooth受信機能でスマートフォンやタブレットの音をワイヤレスで再生することが可能です。

- [⑪ 電源ボタン/音量ダイヤル]を押し電源を入れます。
- [② 機能切替/スキャン]を回し「BT」に切替えます。
- 信号音流れペアリングモードになります。 ※⑨ディスプレイにBluetoothマークが点滅
- スマートフォン、タブレット等のBluetooth接続画面で本機 [GAA4-MCA0001]を選択して接続します。 ※Bluetooth接続画面の操作詳細は各機器の説明書をご確認ください。
- 接続が成功すると信号音が流れ ⑨ ディスプレイにBluetoothマークが点灯します。
- スマートフォン、タブレット等で音楽や動画を再生すると本機から音が流れます。
- Bluetoothで再生中、本機の操作ボタン [⑰ CD/USB再生/一時停止ボタン][⑰ CD/USB戻りボタン][⑰ CD/USB送りボタン]で各操作をすることが可能です。

外部入力(AUX)機能の使い方

本機では3.5mmステレオミニジャックケーブル(別売)で再生機器を接続し、外部入力音声として本機で再生、カセットテープに録音することが可能です。

- [⑪ 電源ボタン/音量ダイヤル]を押し電源を入れます。
- [② 機能切替/スキャン]を回し「PHON/AUX」に切替えます。
- 先に外部機器に3.5mmステレオミニジャックケーブルを接続し、次に本機正面の [⑦ 外部入力端子]に接続します。
- ※先に本機にケーブルを接続すると他の再生機器を接続する際に大音量でノイズ等が鳴り、故障の原因になる場合がありますのでご注意ください。
- 接続完了後は他の再生機器で音声再生し、本機で音量を調整してください。
- 本機で再生される音声はそのままカセットテープ/USBに録音することが可能です。

故障かな?と思ったら

共通	音が出ない	○ 本体の電源(ダイヤル)はオンになっていますか? ○ 本体背面の電源コードが抜けていませんか?
CD	再生できない	○ ディスクの裏表が逆ではありませんか? ○ ディスクに汚れやキズはありませんか?
	再生できない	○ テープは正しく録音されたものですか? ○ 機能切替はテープになっていますか? ○ 再生ヘッドが汚れていませんか?
カセットテープ	再生できない	○ 誤消去防止の爪が折れていませんか? ○ 録音したい音源の機能に切り替わっていますか?
	録音できない	○ スマートフォン、タブレットが別の機器と接続されていませんか? ○ 本機に別の機器が接続されていませんか? ※Bluetoothは原則1対1の接続です。目的の機器以外の接続を解除して再度お試しください。
Bluetooth	接続できない	○ USBメモリーの推奨容量は16GB以下です。 ○ 本機で再生可能なファイル形式はMP3です。それ以外の形式のファイルは動作保証外となります。
USBメモリー	再生・録音できない	○ USBメモリーの推奨容量は16GB以下です。 ○ 本機で再生可能なファイル形式はMP3です。それ以外の形式のファイルは動作保証外となります。